

「わが村は美しくー北海道」運動コンクール 過去の応募団体のご紹介(釧路・根室地域)

第3回コンクール

【景観部門】

昆布森小学校【釧路町】

特別賞

釧路町立昆布森小学校では、20年以上前から児童が中心となり、「ピカリン大作戦」という地域の美化と前浜の清掃活動を実施しています。



ゴミが多い前浜を見て、“自然豊かな自分たちの町をいつまでもきれいなままで残したい”という純粋な気持ちから、児童たちが自主的に清掃を始めたことが活動のきっかけでした。まさに、“わが村を美しく”したいと言う子供たちの思いが地域に浸透している好例ではないでしょうか。

【景観部門】

忠類川サケ・マス
有効利用調査実行委員会【標津町】

忠類川は、自然遊上のサケ・マスを釣ることができる日本最初の川です。

川に入ると人工物はほとんど見られず、知床の雄大な山並みと原生の川の景観がマッチした世界が広がります。

この景観を保つため、メンバーは河原のゴミだけではなく、川の中のルアーや釣り糸まで徹底的に回収しています。このような景観を守るための地道な活動が、利用者のマナーの向上にもつながり、忠類川は“スポーツフィッシングのメッカ”としての地位を確立しました。



【地域特産物部門】

摩周そば生産組合【弟子屈町】

「摩周そば」は、平成2年から栽培され始め、品質にこだわった栽培を続けて、今年で16年目を迎えました。



平成15年度産からは、そば独自の風味を損なうことなく上質のそば粉を作るために、石臼による自家製粉を行っています。

栽培技術向上のため、そばに関する研修会を開催するなど、より良い品質のそばを作るための努力を続けています。また、安全で安心な品質の高い農産物を認定する「北のクリーン農産物表示制度（YES!clean）」にも認定されています。

【地域特産物部門】

摩周メロン生産組合【弟子屈町】

屈斜路湖周辺では、寒暖の差と冷涼な気候を活用し、濃厚な甘さとみずみずしさが特徴の「摩周メロン」が栽培されています。

メロン農家の皆さんは、20年という長い年月をかけて栽培方法を確立し、弟子屈町の特産品として摩周メロンを定着させることに成功しました。

安全で安心な品質の高い農産物を認定する「北のクリーン農産物表示制度（YES!clean）」にも認定されており、他の産地よりも収穫期間が短いため、“幻の摩周メロン”とも言われています。



【地域特産物部門】

北海道
中標津農業高等学校【中標津町】

中標津農業高校では、「地域で生産されたものを、地域で消費することを目的として、肉加工品の開発・製造・販売する」という取り組みを高校生の力だけで行っています。



地場産物を地元で加工することにより、地元の人たちに「安全・安心」な製品を供給することが可能なのではないかと考え、学生たちが試行錯誤しています。

【地域特産物部門】

白糠チーズ友の会
グッチーズ【白糠町】

「しらぬかチーズ友の会 グッチーズ」は、白糠町の酪農家が中心となって設立した、「チーズ工房 白糠酪恵舎」の“応援団”として組織されました。

地元の色々な食材とチーズを組み合わせた料理を地域住民と共に考え、広めたい。

チーズを通して、地域に乳食文化を育てたい。という思いで、チーズ料理の講習会を開催したり、色々なイベントにも積極的に参加してPRを行っています。



【人の交流部門】

鶴居村
あぐりねっとわーく【鶴居村】

鶴居村は、丹頂鶴や釧路湿原をはじめとする豊かな観光資源と、ヨーロッパにも引けを取らない牧歌的風景が自慢の酪農郷です。



鶴居村を愛してやまない人たちがこの会のメンバーで、個々で運営していたファームインやファームレストランなどをネットワーク化し、自由な体験や交流が可能な、「アグリツーリズム」を提案しています。

田舎の小径を歩くも良し、のんびり読書や、農村風景のスケッチなど、自由に、ゆっくり、自分のスタイルを発見してください。

【人の交流部門】

中標津農協青年部【中標津町】

根室管内で唯一、酪農と畑作が共存している中標津町の農業を後世に伝えるために、20年以上前からこの祭りはスタートしました。



参加する人たちに、中標津で栽培されている”こだわりのじゃがいも「伯爵」”を潮干狩りのように掘らせてあげたい、と言う発想で始められた、たった1日数時間のお祭りが、今では1万人以上が来場する、一大イベントに成長しました。

【人の交流部門】

根室・室根交流の会【根室市】

根室市と岩手県一関市室根町（旧室根村）は、「地名が逆さ」であることが縁で交流が始まり、今年で8年目を迎えました。



活動はマラソンや駅伝などのスポーツ交流から始まり、室根大祭や和太鼓など伝統芸能の交流や、根室の「海の幸」と室根の「山の幸」の特産品の相互交流にまで発展してきました。

地域住民の発想を大切にした民間交流は、今後も一層お互いの繋がりを深めていくでしょう。

【人の交流部門】

クテクン自遊の森
実行委員会【中標津町】

中標津町では、秘境クテクンの滝周辺を”クテクン自遊の森”とし名付け、サバイバルキャンプ”クテクンの森夏物語”を毎年開催しています。



町内の小中学生たちが、完全に文明から隔離された環境の中で、自らが考え、互いに助け合って生活することで、自然を愛し、故郷を愛する心、豊かな人間性が育まれています。

とても過酷なサバイバル生活ですが、色々な分野の専門家たちが連携しながら、子供たちをバックアップをしています。